



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 株式会社オーバル 上場取引所 東
 コード番号 7727 URL https://www.oval.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷本 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 浅沼 良夫 (TEL) (03) 3360-5061
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月19日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	15,589	3.6	1,703	19.7	1,771	22.7	1,400	36.0
2025年3月期	15,048	4.9	1,422	△3.6	1,444	△8.2	1,029	△6.6

(注) 包括利益 2026年3月期 1,642百万円(28.1%) 2025年3月期 1,282百万円(△6.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	64.94	—	8.9	7.2	10.9
2025年3月期	45.96	—	6.7	6.0	9.5

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 12百万円 2025年3月期 18百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	24,711	16,215	63.7	773.24
2025年3月期	24,493	16,320	64.8	708.16

(参考) 自己資本 2026年3月期 15,743百万円 2025年3月期 15,865百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	1,993	△1,347	△1,089	3,423
2025年3月期	1,987	△844	△606	3,846

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00	358	34.8	2.3
2026年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	420	30.8	2.7
2027年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00		—	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	16,000	2.6	1,800	5.7	1,900	7.2	1,420	1.4	65.86

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	21,000,000株	2025年3月期	26,180,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期	639,521株	2025年3月期	3,776,106株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	21,561,042株	2025年3月期	22,403,910株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	13,046	3.1	1,304	4.8	1,611	23.8	1,382	42.2
2025年3月期	12,648	4.9	1,244	17.6	1,301	0.6	971	1.7
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	64.11		—					
2025年3月期	43.38		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	20,147	12,884	63.9	632.81
2025年3月期	20,034	13,157	65.7	587.26

(参考) 自己資本 2026年3月期 12,884百万円 2025年3月期 13,157百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、当企業グループが発表日現在において入手可能な情報により判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって変動する可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は6月4日(木)に予定しております決算説明会後、当社ウェブサイトを開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	14
(1) 生産、受注及び販売の状況	14
(2) 役員の異動	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、AI投資や財政支出が景気を下支えする一方、米国の通商・経済政策の動向、中国の成長鈍化、地政学的緊張の長期化など不安定要因も多く、先行きには不確実性が伴う状況となりました。一方、我が国経済は、賃上げの定着や雇用環境の改善、設備投資の持ち直しを背景に緩やかな改善が見られたものの世界経済動向、金融政策の変化および中東情勢の緊迫化による原油価格上昇に伴う更なる物価上昇への警戒感もあり、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境のもと当企業グループは、経営理念“確かな計測技術で、新たな価値を創造し、豊かな社会の実現に貢献します。”に基づき、企業活動を通じて、これまで培ってきた技術をより一層深化させてまいりました。また、中長期経営ビジョンである「アジアNo.1のセンシング・ソリューション・カンパニーへ」の実現に向け、当連結会計年度より「中期経営計画『Imagination2028』」をスタートさせ、成長期として、これまで整えた基盤を活かし、さらなる成長に向けて邁進してまいりました。具体的には、2026年2月に、水素の効率的な利用に向け、水素実ガスを用いて水素計測用の流量計の校正を行う設備「OVAL H₂ Lab」を横浜事業所内に開設いたしました。本設備を通じて、水素計測流量計の信頼性向上や校正サービスを通じた新たな事業機会の創出を図っております。さらに、2026年3月には、クランプオン形超音波流量計「UC-1」を用いた、「学校プールの給水状況をリアルタイムで可視化する監視システムに係る業務」を神奈川県内の自治体より受注し、公共分野におけるソリューション展開も進めております。加えて、水素やアンモニアなど需要拡大が見込まれる分野に向けた流量計測機器、校正機器および流体計測制御に関するシステムソリューションを幅広い業界向けに積極的に展開いたしました。また、長年培ってきた石油計測の確かな技術と経験を活かし、エネルギーの安定供給および安全保障にも貢献してまいりました。

その結果、当連結会計年度の受注高は、システム部門において前連結会計年度に大口受注が集中した反動が影響したものの、センサ部門が好調に推移し、15,095百万円（前連結会計年度比4.1%増）となりました。売上高はセンサ部門およびサービス部門が堅調に推移したことに加え、防衛予算の増加を背景とした市場環境のもと、防衛省向け売上が一定程度増加したことなどにより、15,589百万円（同3.6%増）と前連結会計年度を上回りました。利益面では販売単価の改善および収益性の高い製品を中心とした販売構成の改善が進んだことにより利益率が向上したことに加え、原材料費の上昇が当初想定を下回ったこと、ならびにシステム事業における収益性改善が進展したことなどにより、営業利益は1,703百万円（同19.7%増）、経常利益は1,771百万円（同22.7%増）となりました。また、繰延税金資産の回収可能性について見直しを行った結果、2026年3月期の法人税等調整額が△198百万円（△は益）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は1,400百万円（同36.0%増）と、いずれの利益も前連結会計年度を大幅に上回る結果となりました。

事業部門別の業績は、以下のとおりであります。

(センサ部門)

受注高は、国内では、半導体関連業界向けが回復したことに加え、石油関連業界向けが好調に推移しました。海外では、中国において船舶関連業界や電池関連業界が堅調に推移した結果、9,759百万円（前連結会計年度比16.0%増）と前連結会計年度を大幅に上回る結果となりました。売上高は、国内では、主要顧客である化学関連業界向けが好調であったことに加え、半導体関連業界向けが回復し、海外では中国において船舶関連業界向けが好調に推移したことにより、10,427百万円（同9.9%増）となりました。

なお、当連結会計年度の売上高には、Anton Paar GmbHとのライセンス契約におけるライセンスの対価である契約一時金の収受が含まれております。

(システム部門)

受注高は、シンガポール連結子会社OVAL ASIA PACIFIC PTE. LTD. が大口システム案件を受注したものの、前連結会計年度に大口受注が集中した反動で、2,161百万円（同28.5%減）と前連結会計年度を下回りました。また、売上高につきましても、シンガポール連結子会社の大口システム案件や前連結会計年度に受注した大口案件の進捗により一定の計上があったものの、直近の受注高の減少の影響により、1,985百万円（同23.0%減）と、前連結会計年度を下回る結果となりました。

(サービス部門)

主要顧客である化学関連業界向けおよび石油関連業界向けが引き続き堅調に推移しました。また、顧客訪問に

よる現地流量計校正サービスの提供や、他社製流量計校正サービスなど、顧客のニーズに即したきめの細かい対応を継続してまいりました。こうした取り組みの積み重ねにより、当連結会計年度においては、受注高は3,174百万円（同3.4%増）、売上高は3,175百万円（同6.6%増）と受注売上ともに前連結会計年度を上回る結果となりました。

（2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ217百万円増加し、24,711百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ1,026百万円減少し、12,425百万円となりました。これは主に、電子記録債権が155百万円、契約資産が355百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が320百万円、受取手形が107百万円、売掛金が753百万円、棚卸資産が388百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ1,244百万円増加し、12,285百万円となりました。これは主に、無形固定資産が91百万円、その他投資が22百万円それぞれ減少しましたが、有形固定資産が887百万円、投資有価証券が300百万円、繰延税金資産が160百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ322百万円増加し、8,495百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ347百万円減少し、4,207百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が183百万円増加しましたが、短期借入金が52百万円、未払法人税等が80百万円、契約負債が158百万円、その他流動負債が246百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は670百万円増加し、4,288百万円となりました。これは主に、役員退職慰労引当金が11百万円、退職給付に係る負債が88百万円それぞれ減少しましたが、長期借入金が768百万円増加したことによるものであります。

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ104百万円減少し、16,215百万円となりました。これは主に、利益剰余金が981百万円、その他評価差額金累計額が63百万円、為替換算調整勘定が88百万円、退職給付に係る調整額が44百万円、非支配株主持分が17百万円それぞれ増加しましたが、自己株式が215百万円、資本剰余金が1,515百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ423百万円減少し、3,423百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は1,993百万円（前連結会計年度は1,987百万円の収入）となりました。これは主に、法人税等の支払額580百万円、その他655百万円により資金が減少した一方で、税金等調整前当期純利益1,761百万円、減価償却費522百万円、売上債権及び契約資産の減少額389百万円、棚卸資産の減少額400百万円、仕入債務の増加額177百万円により資金が増加したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は1,347百万円（前連結会計年度は844百万円の支出）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入317百万円により資金が増加した一方で、定期預金の預入による支出409百万円、有形固定資産の取得による支出1,034百万円、投資有価証券の取得による支出201百万円により資金が減少したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は1,089百万円（前連結会計年度は606百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,213百万円により資金が増加した一方で、短期借入金の純減額137百万円、長期借入金の返済による支出406百万円、自己株式の取得による支出1,302百万円、配当金の支払額417百万円により資金が減少したためであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界的な物価高、金融政策の変更、および中東情勢の緊迫化等から先行きは引き続き不透明な状況が継続するものと認識しております。また、当企業グループの収益に大きく影響を及ぼす顧客各社の設備投資にも、貿易環境の不確実性により計画が先送りされることが懸念され、経営環境は厳しい状況が続くと予想されます。

このような状況下、当企業グループは2025年2月に公表した「中期経営計画『Imagination2028』」（2026年3月期から2028年3月期）のもと、構造改革期で整えた基盤を活かして新たな市場開拓や製品開発に注力し、企業グループ全体のさらなる成長を目指して邁進してまいります。

次期（2027年3月期）の連結業績予想につきましては、売上高16,000百万円、営業利益1,800百万円、経常利益1,900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,420百万円を見込んでおります。売上高につきましては、前年度並みの水準を見込んでおります。一方利益面につきましては、原材料費や人件費の増加が見込まれるものの、販売単価の改善および継続的なシステム部門の収益性の改善などにより、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも当連結会計年度を上回る見通しです。

なお、業績予想は、当企業グループが発表日現在において入手可能な情報により判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって変動する可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当企業グループは、海外からの資金調達を行っていないこと、ならびに連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,172,916	3,852,734
受取手形	213,800	105,975
電子記録債権	1,159,660	1,314,904
売掛金	3,840,270	3,086,818
契約資産	129,232	484,377
商品及び製品	879,428	826,185
仕掛品	795,311	608,381
原材料及び貯蔵品	1,899,079	1,751,163
その他	372,843	404,887
貸倒引当金	△10,338	△9,567
流動資産合計	13,452,205	12,425,860
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,966,142	2,326,406
機械装置及び運搬具(純額)	904,000	976,524
土地	5,757,718	5,758,304
リース資産(純額)	12,669	7,791
その他(純額)	334,041	793,044
有形固定資産合計	8,974,573	9,862,072
無形固定資産		
ソフトウェア	114,248	92,348
のれん	240,543	180,407
その他	28,297	18,787
無形固定資産合計	383,090	291,543
投資その他の資産		
投資有価証券	402,260	703,153
長期貸付金	4,252	4,570
退職給付に係る資産	49,056	68,668
繰延税金資産	298,786	459,428
保険積立金	682,219	692,554
その他	257,249	214,652
貸倒引当金	△9,990	△10,878
投資その他の資産合計	1,683,834	2,132,149
固定資産合計	11,041,497	12,285,764
資産合計	24,493,702	24,711,625

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	886,840	1,070,170
短期借入金	1,257,175	1,205,147
リース債務	7,921	6,931
未払法人税等	348,422	267,428
契約負債	236,590	78,071
賞与引当金	744,651	752,940
その他	1,073,092	826,549
流動負債合計	4,554,694	4,207,241
固定負債		
長期借入金	361,443	1,130,283
リース債務	12,216	5,482
再評価に係る繰延税金負債	1,558,192	1,558,192
役員退職慰労引当金	15,566	3,840
環境対策引当金	5,465	5,465
退職給付に係る負債	1,461,849	1,373,105
資産除去債務	148,758	157,470
その他	54,802	54,729
固定負債合計	3,618,295	4,288,569
負債合計	8,172,990	8,495,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,200,000	2,200,000
資本剰余金	2,137,129	621,334
利益剰余金	7,506,610	8,488,372
自己株式	△403,039	△187,139
株主資本合計	11,440,700	11,122,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	117,064	180,778
土地再評価差額金	3,342,436	3,342,436
為替換算調整勘定	854,461	942,589
退職給付に係る調整累計額	110,945	155,175
その他の包括利益累計額合計	4,424,908	4,620,980
非支配株主持分	455,103	472,266
純資産合計	16,320,712	16,215,814
負債純資産合計	24,493,702	24,711,625

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	15,048,652	15,589,127
売上原価	8,916,100	8,939,149
売上総利益	6,132,552	6,649,978
販売費及び一般管理費	4,710,001	4,946,544
営業利益	1,422,550	1,703,434
営業外収益		
受取利息	23,794	20,669
受取配当金	6,023	10,563
持分法による投資利益	18,490	12,723
受取賃貸料	77,452	82,738
為替差益	-	40,513
その他	47,780	43,784
営業外収益合計	173,540	210,992
営業外費用		
支払利息	50,383	46,082
賃貸収入原価	45,685	46,821
為替差損	27,290	-
ケミカル調査事業費用	23,603	28,283
その他	4,965	21,250
営業外費用合計	151,927	142,437
経常利益	1,444,163	1,771,988
特別利益		
固定資産売却益	484	-
投資有価証券売却益	6,290	-
特別利益合計	6,774	-
特別損失		
固定資産売却損	1,610	1,815
固定資産除却損	27,450	8,608
投資有価証券売却損	2	-
特別損失合計	29,063	10,423
税金等調整前当期純利益	1,421,874	1,761,565
法人税、住民税及び事業税	488,924	524,103
法人税等調整額	△104,430	△198,903
法人税等合計	384,493	325,200
当期純利益	1,037,380	1,436,365
非支配株主に帰属する当期純利益	7,586	36,262
親会社株主に帰属する当期純利益	1,029,794	1,400,102

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	1,037,380	1,436,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,632	63,713
土地再評価差額金	△44,491	-
為替換算調整勘定	197,393	101,361
退職給付に係る調整額	81,914	44,230
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,189	△3,161
その他の包括利益合計	245,259	206,144
包括利益	1,282,640	1,642,509
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,267,182	1,596,174
非支配株主に係る包括利益	15,457	46,335

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,200,000	2,137,129	6,790,470	△403,010	10,724,589
当期変動額					
剰余金の配当			△313,654		△313,654
親会社株主に帰属する当期純利益			1,029,794		1,029,794
自己株式の取得				△28	△28
自己株式の消却					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	716,139	△28	716,111
当期末残高	2,200,000	2,137,129	7,506,610	△403,039	11,440,700

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	103,432	3,386,928	668,128	29,030	4,187,520	452,392	15,364,502
当期変動額							
剰余金の配当							△313,654
親会社株主に帰属する当期純利益							1,029,794
自己株式の取得							△28
自己株式の消却							-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	13,632	△44,491	186,332	81,914	237,388	2,710	240,098
当期変動額合計	13,632	△44,491	186,332	81,914	237,388	2,710	956,210
当期末残高	117,064	3,342,436	854,461	110,945	4,424,908	455,103	16,320,712

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,200,000	2,137,129	7,506,610	△403,039	11,440,700
当期変動額					
剰余金の配当			△418,339		△418,339
親会社株主に帰属する当期純利益			1,400,102		1,400,102
自己株式の取得				△1,299,895	△1,299,895
自己株式の消却		△1,515,795		1,515,795	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△1,515,795	981,762	215,899	△318,133
当期末残高	2,200,000	621,334	8,488,372	△187,139	11,122,567

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	117,064	3,342,436	854,461	110,945	4,424,908	455,103	16,320,712
当期変動額							
剰余金の配当							△418,339
親会社株主に帰属する当期純利益							1,400,102
自己株式の取得							△1,299,895
自己株式の消却							-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	63,713	-	88,127	44,230	196,071	17,163	213,234
当期変動額合計	63,713	-	88,127	44,230	196,071	17,163	△104,898
当期末残高	180,778	3,342,436	942,589	155,175	4,620,980	472,266	16,215,814

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,421,874	1,761,565
減価償却費	534,049	522,217
のれん償却額	60,135	60,135
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14,881	22
賞与引当金の増減額 (△は減少)	40,405	6,846
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	73,337	△89,193
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△36,847	△19,612
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	834	△11,528
受取利息及び受取配当金	△29,817	△31,232
支払利息	50,383	46,082
持分法による投資損益 (△は益)	△18,490	△12,723
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6,287	-
固定資産売却損益 (△は益)	1,126	1,815
固定資産除却損	27,450	8,608
ケミカル調査事業費用	23,603	28,283
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△253,354	389,526
棚卸資産の増減額 (△は増加)	386,459	400,375
仕入債務の増減額 (△は減少)	119,265	177,094
その他	13,431	△655,070
小計	2,392,677	2,583,212
利息及び配当金の受取額	30,578	31,992
利息の支払額	△49,233	△50,077
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△386,314	△580,754
受取保険金の受取額	-	9,559
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,987,707	1,993,932

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△323,479	△409,668
定期預金の払戻による収入	196,514	317,189
有形固定資産の取得による支出	△715,004	△1,034,307
有形固定資産の売却による収入	800	7,494
有形固定資産の除却による支出	△15,522	△8,397
無形固定資産の取得による支出	△25,678	△27,320
投資有価証券の取得による支出	△1,672	△201,554
投資有価証券の売却による収入	10,729	-
貸付けによる支出	△1,612	△2,852
貸付金の回収による収入	6,745	4,142
その他の支出	△55,637	△34,140
その他の収入	78,844	41,733
投資活動によるキャッシュ・フロー	△844,972	△1,347,679
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△43,333	△137,720
長期借入れによる収入	200,000	1,213,433
長期借入金の返済による支出	△407,223	△406,393
リース債務の返済による支出	△34,140	△8,003
自己株式の取得による支出	△28	△1,302,495
配当金の支払額	△312,636	△417,440
非支配株主への配当金の支払額	△9,280	△30,877
財務活動によるキャッシュ・フロー	△606,642	△1,089,496
現金及び現金同等物に係る換算差額	113,018	19,872
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	649,110	△423,370
現金及び現金同等物の期首残高	3,197,865	3,846,976
現金及び現金同等物の期末残高	3,846,976	3,423,605

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年8月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,296,800株の取得、2025年11月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式746,600株の取得を行っています。この結果、単元未満株式の買取りによる取得を含め、当第4四半期連結累計期間において、自己株式が1,299,895千円増加しました。

(自己株式の消却)

当社は、2026年3月13日開催の取締役会決議に基づき、2026年3月31日付けで自己株式5,180,000株を消却いたしました。これにより、当第4四半期連結累計期間において資本剰余金および自己株式がそれぞれ1,515,795千円減少しました。

(セグメント情報等)

当企業グループは、計測機器等の製造・販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報については記載を省略しております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	708.16円	773.24円
1株当たり当期純利益	45.96円	64.94円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,029,794	1,400,102
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,029,794	1,400,102
普通株式の期中平均株式数(千株)	22,403	21,561

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

(単位：千円)

期 別 項 目	前連結会計年度		当連結会計年度		増減 金 額
	自 2024年4月1日 至 2025年3月31日		自 2025年4月1日 至 2026年3月31日		
	金 額	構成比 %	金 額	構成比 %	金 額
I. 生産実績					
センサ部門	9,253,848	61.0	10,431,899	66.1	1,178,051
システム部門	2,910,069	19.2	2,128,640	13.5	△781,428
サービス部門	3,003,534	19.8	3,218,601	20.4	215,067
合 計	15,167,452	100.0	15,779,142	100.0	611,689
II. 受注状況					
センサ部門	8,410,548	58.0	9,759,342	64.7	1,348,793
システム部門	3,022,829	20.8	2,161,409	14.3	△861,420
サービス部門	3,068,975	21.2	3,174,421	21.0	105,446
合 計	14,502,353	100.0	15,095,173	100.0	592,819
期末受注残高	4,995,799		4,501,844		△493,954
III. 販売実績					
センサ部門	9,490,606	63.1	10,427,845	66.9	937,238
システム部門	2,577,806	17.1	1,985,817	12.7	△591,988
サービス部門	2,980,239	19.8	3,175,465	20.4	195,225
合 計	15,048,652	100.0	15,589,127	100.0	540,475

(2) 役員の異動

①代表者の異動

該当事項はありません。

②その他の役員の異動（2026年6月26日付予定）

1. 昇格予定執行役員

氏名	新役職	現役職
藤原 康之	上席執行役員	執行役員

2. 新任予定執行役員

氏名	新役職	現役職
小澤 貴浩	執行役員	技術部部門部長 環境化学管理部部門部長